

によど川

仁淀川町広報

2008

12月号

芸術の秋

大野祥雲「ふるさと書展」ほか

森分団優勝 中央地区消防操法大会

てくてく山紀行⑥ 雑誌山ノカラ池

掛水美希さん 国税庁長官賞(作文)

芸術の秋



町に寄贈いただいた作品

魅力の「書」40点 大野祥雲「ふるさと書展」



大野祥雲さん

【略歴】

昭和12(1937)年 高瀬生まれ
現在

高知大学名誉教授
(財)毎日書道会評議員・審査会員
(財)書道芸術院常務理事・審査会員
高知県展無鑑査
(社)筆の友書道会会長
高知県日中友好書道協会代表

十月二十三〜二十八日、旧仁淀村出身の書家、大野祥雲さん（高知市）の作品四十点を集めた「大野祥雲『ふるさと書展』」が仁淀多目的研修集会施設で開かれました。期間中、約三百五十人が鑑賞に訪れ「書」の魅力を堪能しました。

「生まれ育った思い出深いこの地で、仕事の一部を町民の皆さんに見ていただけたことをうれしく思います」と大野さん。初めてふるさとで書展を開くということで、毎日のように会場に足を運び、来場者に作品の説明をしたり、質問に答えたりしていました。また町内の知人や同級生など

が訪れると、懐かしい話で盛り上がり楽しい時間を過ごされたようです。

町への寄贈作品「海」

今回展示された作品のうち、縦九十センチ、横百八十センチの大作「海」を町に寄贈していただきました。

大野さんは作品に対し「海は大小の河川を受け入れ、広々と広がっていきます。小を捨てないがために大きくなっていくのです。『学海』という言葉もあります。川は海を学び、流れを止めず、海に至るということだと思います。いろいろの学びを途中でやめないということに使用されています」との思いを込めています。

オーケストラがやってきた♪



東京ニューシティ管弦楽団と浪川佳代さん



生徒代表が堂々と指揮棒を振りました

本物に触れる体験学習

10月28日、仁淀中学校に東京ニューシティ管弦楽団が来校し、演奏を披露しました。この演奏会は、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」として行われたものです。

当日は、全校生徒のほか、保護者など大勢が鑑賞、田久保裕一さんの指揮による「カルメン」組曲の演奏や声楽家の浪川佳代さんの歌声に酔いしれました。

演奏の合間には、指揮者から曲の内容や楽器について分かりやすい説明があり、生徒たちは興味津津の様子でした。また生徒による指揮者体験もあり、代表で挑戦した3人は緊張した面持ちながら堂々と指揮棒を振りました。

最後は3年生全員が作詞・作曲し、田久保さんが編曲した「絆」という曲と校歌をオーケストラの演奏に合わせて合唱。和やかな雰囲気で行った演奏会は感動とともに幕を閉じました。

「私は貝になりたい」試写会

風景とは対照的に、悲しく切ないシーンが続きます。上映後「この会場で、どれだけの方が戦争の悲

しかし全編に流れる美しい風景とは対照的に、悲しく切ないシーンが続きます。上映後「この会場で、どれだけの方が戦争の悲

尾崎正直県知事ご夫妻も出席され、同じゲスト席に陣取った皆さんは大喜び。映画が始まり、大きなスクリーンに仁淀川町の山並みや集落が映し出されると、思わず「おおっ」と声が上がっていました。

二度にわたり愛する家族と引き離れた主人公。戦争による悲劇を通じて、夫婦愛や家族の絆を描いた映画「私は貝になりたい」が、十一月二十二日から全国公開されています。

椿山が映画スクリーンに！



上映後、椿山の皆さんは知事ご夫妻と記念撮影

「かわいそうな話だった」と言う感想ばかりでしたが、ロケ現場として椿山が選ばれたこと、エキストラで参加できたことを、皆さんとても喜んでいらっしゃる様子でした。帰り際、希望していた知事との記念撮影もかない、たくさんの思い出を胸に映画館を後にしました。

「秋葉神社祭礼練り保存会」県文化賞受賞

祭りを守り地域を元気に！



学術、芸術、教育など文化に功績のあった個人を表彰する高知県文化賞に「秋葉神社祭礼練り保存会」（吉岡郷継会長）が選ばれました。

二百年以上の歴史を持つ秋葉まつりの伝統を継承するため、保存会が発足したのは昭和四十一年。この当時から別枝地区では、人口減少により祭りの担い手の確保が困難になってきました。地区内で太刀踊りに参加する子どもがいなくなると、他地区の子どもが助っ人として参加するようになってきました。

保存会メンバーは「世話役」として、祭り前の「ならし」で子どもたちを指導し、本番でも厳しくも温かいまなざしで後継者たちを見守っています。

後継者を育て、祭りを守り続けることにより、地域を元気づけていこうと、保存会の皆さんの活動は続きます。

表彰式は十一月三日に高知市で行われました。また十二月には受賞祝賀会が行われます。



11月1日から4日まで、仁淀農業者トレーニングセンターを会場に仁淀文化祭が開催されました。

保育園児や小中学生・一般の方が出品した力作を、600人を超える来場者が鑑賞しました。

力作鑑賞に600人 仁淀文化祭



新春恒例
池川芸能大会
ご案内

日時

平成21年1月4日（日）

午後0時30分～4時

場所

池川コミュニティセンター

毎年、大勢の観客でにぎわう池川芸能大会。

舞踊や歌謡、椿山太鼓踊り、寸劇など盛りだくさんの内容で皆さんをお待ちしています。



昨年の芸能大会

〔自動車〕
ポンプの部

森分団が優勝

中央地区消防操法大会



大会に出場した町消防団員

十月十九日、県消防学校（いの町）で、県中央地区九市町村の消防団が集い、第二十七回県中央地区消防操法大会が開催されました。

本町からは自動車ポンプの部に森分団と池川分団が、小型ポンプの部に川渡分団、池川方面隊、中津分団が出場しました。

五カ月前から夜間練習などに励んだ成果を十分に発揮し、自動車ポンプの部で森分団が優勝、小型ポンプの部では川渡分団が準優勝するなど、本町消防団の操法技術の高さを示しました。

自動車ポンプの部

優勝 森分団

準優勝 いの町消防団

第三位 池川分団

小型ポンプの部

優勝 越知町消防団

準優勝 川渡分団

第三位 いの町消防団

敢闘賞 池川方面隊

保育園児が防火パレード

火災が発生しやすい季節。恒例の保育園児による防火パレードが行われました。

園児たちはパレードに先立ち「僕たちは火遊びを絶対しません」と元気な声で防火を誓いました。また日ごろお世話になっている消防関係者やお巡りさんに「ありがとう」と手作りのプレゼントを贈りました。

火の用心



十一月七日・長者保育所



十一月十四日・名野川保育所

十一月十一日・ふたば保育所



平成23年5月31日まで

消防法改正により、住宅用火災報知器の設置が義務付けられています。平成十八年六月一日以降の新築住宅には既に設置されていますが、それ以前に建てられた住宅についても、平成二十三年五月三十一日までに設置しなければなりません。

安心・安全のためにも、できるだけ早く設置しましょう。

住宅用火災報知器は、煙などを感知して警報が鳴り、万一の火災の発生を早期に知らせてくれるもので、全ての寝室に設置しなければなりません。二階に寝室がある場合は階段にも設置しなければなりません。

警報器は、消防用設備取扱店や電気店またはホームセンターなどで購入できます。消防署が幹旋、販売することはありません。悪質な訪問販売にはご注意ください。

また購入するときは、日本消防検定協会の鑑定合格証が付いているものが安心です。

住宅用火災警報器は設置しましたか？



問い合わせ

高吾北消防本部予防係

☎26・2111

住宅用火災報知器相談室

フリーダイヤル0120・565・911